【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2005-513353(P2005-513353A)
【公表日】平成17年5月12日(2005.5.12)
【年通号数】公開・登録公報2005-018
【出願番号】特願2003-556674(P2003-556674)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｃ　15/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｃ　15/00　　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月5日(2005.12.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポンプ、殊に羽根型隔室ポンプ若しくはロール型隔室ポンプであって、羽根型隔室ポンプ若しくはロール型隔室ポンプが二行程形のカムリング（１）を備えており、ロータ（３）を備えており、該ロータ（３）内に羽根（５）若しくはロールを半径方向摺動可能に支承してあり、少なくとも１つのサイドプレート（４１）を備えており、該サイドプレート（４１）によって回転機構ユニットをシールしており、ケーシング（２７）及びケーシングカバー（３１）を備えており、ロータ（３）が軸（７）によって駆動されるようになっており、該軸（７）がケーシング（２７）内に支承されかつ必要に応じてケーシングカバー（３１）内にも支承されている形式のものにおいて、カムリング（１）と少なくとも１つのサイドプレート（４１）とが、第１の少なくとも１つのピン（４３．１）によって互いに位置決めされており、該第１のピン（４３．１）が前記少なくとも１つのサイドプレート（４１）を貫通しないようになっていることを特徴とする、ポンプ。
【請求項２】
少なくとも１つのサイドプレート（４１）とケーシング（２７）若しくはケーシングカバー（３１）とが、第２のピン（４３．２）によって互いに位置決めされており、該第２のピン（４３．２）が前記少なくとも１つのサイドプレート（４１）を貫通しないようになっており、かつ該第２のピン（４３．２）がカムリング（１）と接触しないようになっている請求項１記載のポンプ。
【請求項３】
第２のサイドプレート（３９）とケーシング（２７）若しくはケーシングカバーと（３１）が、第３のピン（４３．３）によって互いに位置決めされており、該第３のピン（４３．３）が前記第２のサイドプレート（３９）を貫通しないようになっており、かつ該第３のピン（４３．３）がカムリング（１）と接触しないようになっている請求項１又は２記載のポンプ。
【請求項４】
第１のピン（４３．１）並びに第２のピン（４３．２）、及び必要に応じて第３のピン（４３．３）が、同一の連通開口内でしかも異なる構成部分内に配置されている請求項１から３のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項５】

第１のピン（４３．１）並びに第２のピン（４３．２）、及び必要に応じて第３のピン（４３．３）が、それぞれサイドプレート（３９，４１）の厚さのほぼ半分まで達している請求項１から４のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項６】
第１のピン（４３．１）並びに第２のピン（４３．２）、及び必要に応じて第３のピン（４３．３）が、いわゆる精密孔内に配置されており、これによってピンが全体で１つのいわゆる精密ピン孔結合部を形成している請求項１から５のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項７】
第２の連通開口がサイドプレート（３９，４１）、カムリング（１）、ケーシング（２７）若しくはケーシングカバー（３１）に設けられており、この場合に、サイドプレート（３９，４１）の第２の開口が長孔として形成されており、かつケーシング（２７）若しくはケーシングカバー（３１）及びカムリング（１）の第２の開口が円形孔として形成されており、第４及び第５のピン（４３．４，４３，５）が長孔内に配置されており、第４のピン（４３．４）が原理的に第１のピン（４３．１）と同じに構成して配置されており、かつ第５のピン（４３，５）が原理的に第２のピン（４３．２）と同じに構成して配置されている請求項１から６のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項８】
孔が段のない一貫した孔として形成されており、これによってピンが剪断力負荷のみを受けて、曲げ力負荷を受けないようになっている請求項１から７のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項９】
ケーシングカバー（３１）内の両方（第２及び第５）のピン（４３．２，４３，５）及びケーシング（２７）内の第３のピン（４３．３）が、互いに同じ長さであって、かつ互いに同じ直径を有している請求項１から８のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項１０】
カムリング（１）内の両方（第１及び第４）のピン（４３．１，４３．４）が、互いに同じ長さであって、かつ互いに同じ直径を有している請求項１から９のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項１１】
第２、第３及び第５のピン（４３．２，４３．３，４３，５）が、第１及び第４のピン（４３．１，４３．４）と異なる直径を有しており、従ってサイドプレート（３９，４１）内の孔が段を付けて形成されている請求項１から１０のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項１２】
ケーシング（２７）がコップ形である請求項１から１１のいずれか１項記載のポンプ
【請求項１３】
回転機構ユニットがケーシングカバー（３１）に取り付けられている請求項１から１２のいずれか１項記載のポンプ。
【請求項１４】
軸（７）が付加的にケーシングカバー（３１）にも支承されている請求項１から１３のいずれか１項記載のポンプ。